(54) METHOD AND DEVICE OF

ICONDUCTOR

(11) Kokai No. 52-56868

(21) Appl. No. 50-132643

(22) 11.5.1975

(71) TOKYO SHIBAURA DENKI K.K. (72) KOSUKE SUMITOMO (3)

(52) JPC: 99(5)C3;99(5)H0;99(5)E3

(51) Int. Cl². H01L21/302,H01L27/04,H01L21/88,H01L? 7/76



PURPOSE: To improve integration of IC so as not to form whisker even when it is used negative resist by covering Al wiring formed on the semiconductor substrate

with Al₂O₃ membrane and by removing wire taking-out part.

STITUTION: Vapor-deposit Al layer 13 on the whole surface of semiconductor CONSTITUTION: substrate 1 on which element region is formed by photo-etching and diffusion method and oxidize anode to convert it into porous Al₂O₃ layer 13a. Color layer 13a by organic dye and spread resist membrane 14 and form wiring pattern 15 by photo-etching. As this Al₂O₃ layer is colored by dye, reflection coefficient of the surface is very low and therefore whisker will not be generated even if nega-resist is used. And then remove organic material which is formed in the reaction of dye and resist and remove wire taking-out part. Thus prevention of generating whisker causes no disconnection among multilayers formed.

(54) PRODUCTION OF SEMICONDUCTOR ELEMENT

(43) 5.10.1977 (21) Appl. No. 50-132646 (11) Kokai No. 52-56869

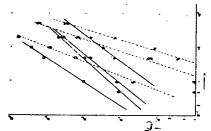
(22) 11.5.1975

(71) TOKYO SHIBAURA DENKI K.K.

(72) SHUNICHI KAI (2)

(52) JPC: 99(5)C3;99(5)B12;99(5)C23

(51) Int. Cl². H01L21/302,H01L21/22,H01L21/31



PURPOSE: To make probable to perform superior selective etching by using three dimentional solution of R(OH)n-H₂O-HF (R is alkyl group and n=1, 2, 3) against coating of such as SiO2, PSG and BSG, which are formed on the semiconductor substrate.

For example if it is used mixed solution of dense HF concentration **CONSTITUTION:** (49%) and R(OH)n (where it is alcohol and R is alkyl group) and water, etching rates against different glasses have different values; in the alcohol solvent etching speed V can be written as V=K[HF] M [H2O] N (HF concentration should not exceed 50 volume %), where M=2 and N=1 against SiO2 and BSG and M=1.5 and N=1 against PSG. And in the aqueous solvent it is written as V=K[HF] (HF concentration should not exceed 20 vloume %), where constant K varies according to temperature, kinds of materials to be etched and those of solvent of the solution. This process makes use of these variation.



(54) HOLDING OF SUBSTRATE

(11) Kokai No. 52-56871 (43) 5.10.1977 (21) Appl. No. 50-133514

(22) 11.5.1975

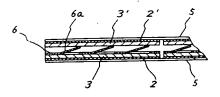
(71) NIPPON DENKI K.K. (72) TATSUHIKO MIYAZAWA

(52) JPC: 99(5)C3;99(5)C1;59G41;99(5)A04

(51) Int. Cl². H01L21/302,H05K3/00

PURPOSE: To get complete fit between mask and substrate which is easy to be broken such as silicon wafer and ceramic substrate by holding it to frame of substrate holder by pressing the facing substrate of overlayed masks with elastic material between them to the outward direction.

CONSTITUTION: Overlay mask 2, substrate 3, mask 2', and substrate 3' respectively in the frame of substrate holder whose cross section has U shape so that substrates 3 and 3' are facing each other. Then put elastic part 6 equipped with plural numbers of plate spring pieces 6a which are made of thin stainless steel plate bybending one side of it and which is protruding slanting direction between the substrates 3 and 3' and fix it by pressing to holder frame 5 via masks 2 and 2' to the direction that facing substrates separate off. Therefore it is possible to get uniform pressure and to get excellent contactness and to avoid the damage of the substrate.





特許法第38条ただし費 の規定による特許出願

許 願(4) 50.11.45

特許庁長官、殿

 発明の名称 ハン 1ウダイソ シ ゼングホウボ 半 導 体 末 子 の 製 遺 方 伝

2特許請求の範別に記載された発明の数 2

8.8. 発明者,

(4000P!)

カナガマをンカフチャレフィフ・ファンムカ・・ウンパチョウ 神奈川県川崎市幸区小向東芝町1

東京芝浦電気株式会社トランジスタ工場内

ヒラキ

/コン 15 役 一

(はか 2 名)

4.9. 特許出願人

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(307) 東京芝浦電気株式会社

代表者 玉 置 敬

B

5.4. 代理人

〒 144 東京都大田区補田4丁目41番11号 第一津野田ビル 非上特許事務所内 電 話 736-3558

(3257) 弁理士 井 上 一 男

50 132646

(19) 日本国特許庁

公開特許公報

①特開昭 52-56869

43公開日 昭52.(1977) 5.10

②特願昭 50-/32646

②出願日 昭50.(1975) //. 5

審査請求 未請求

(全4頁)

庁内整理番号

7113 57 6684 57 7216 57

②日本分類 99的C3 99的B/2 99的C33

識別 記号

胡

∄ i

- 1. 光明の名称 半母体案子の投進万法
- 2. 特許請求の製出
 - (1) 半導体業子の設造において、半導体基板の主 側に形成した \$102, P80, B80 等の 破験に対し、 R(OH)n (たゞしRはアルキル基にしてn=1, 2.3) - H2O - HPの三 元 糸裕 数をもつて 処 埋を地すことを特徴とする半導体 業子の設置方 法。
 - 以 R(OH) n (たゞしRはアルキル基にしてn n 1 2 3) ー H2O ー HF よりなる三元糸俗散の配合比、アルキル盎の値類を選択して8102、P80、B5G 等各徴膜に対する選択処理を施すことを特徴とする特許請求の範囲形1 填記載の半導体系子の製造万法。
- 8. 発明の辞細な説明

半等体系子の投資において、半導体基板の王自 上に PBG(リン 程賦ガラス),BBG(ポロン 選銀ガラス),B1Og の如きガラス映を嵌着し、これを対定の形状に形成しこれをマスクとして不純物 瓜胶の如色処理を加す工程がある。

- (A) を P S G と シリコンの 勝 酸化 楔 との 夫々の エソテングレート (Etching rate) の 比で 扱わされる 感 択 比。
- (B) を PBUとシリコンの 気相成反似化膜との 選択に。
 - (C) を PBG と BSG と の 選択比。
- (D)をBSGとシリコンの無暇化終との過択比。 をもつて扱わすとき
- (A)=79 (H)=13 (C)=2U (D)=4 にてこれらの間には大きな触りが必められない。 即ち選択拡散には通さない欠点がある。

特別昭52-56869(2)

本発明は上記従来の欠点を除去するために、選 択型数に有効なエッチング処理故による処理方法 を含む半導体本子の製造方法を提供するものであ

本発明にからる半導体来子の製塩方法は、(1)半導体来子の製造において、半導体基数の王国に形成した8102 PSU,BSG等の被映にたいし、R(OBIn-H2U-HF (たとしばアルキル話にしてロー1,2,3)の三元米俗枚をもつて処理を施すことを特徴とする。さらに以R(OH)n-H2O-HF(たとしRはアルキル話にしてロー1,2,3)よりなる三元米俗形の配合比、アルキル系の個類を選択して8102,PSG,BSG等合或膜に対する選択処理を施すことを特徴とする上記第1項記載の製造方法。である。

以下に本発明の殺遺方法の一実施例につき評細に説明する、処理の一例のエツチンクを各値の保 機既に透拭的に値すにあたり、HP 健厚放 (49%)。R(UH) n (Tルコール、RはTルキル香) および水との洗液を用いることによつて各値のカラス質

(610%, BSG. PSG に対するエツチングレート (Etching rates)のHP機度依存度)に明らかな ようにHPの機度のみならす、H20機度を変化さ せるもので、たとえばHP機度のわつかな変化が エツチング速度を大きく変化させることが可能で

3) 水に柳状される他の有機溶媒(一例として ジオキサン)でも回像の結果が考えられる。

以に一例の 5 vol 8 アルコール版によるエッチング版の過剰比(エッチングレートの比)を次の出入に示す。 労 1 表において

- (A) は PSG と シリコンの 無酸化級との天々のエッチングレート (Etching rate)の比で洗わす透灯比。
- (B) は P8 B と シ リコ ン の 気 相 成 長 敢 化 映 と の 選 択 比 。
 - (C) は P8G と B8G との選択比。
 - (D) は B S G と シリコン の 素 酸化膜との 選択比。
- (E) は b B は と シ リ コ ン の 気 相 成 長 酸 化 駅 と の 越 択 比。

に対するエッチングレートに相返のあることを見出した。俗依の健康によりエッケング迷眩の相違、助ちエッチング迷眩の水破眩 俗存住、 HF 級 関 俗存住は第1四に示す如く実験によって水めた。これを埋繭的に 辞明すると 次の如くなる。 即ちエッケング選跋はアルコール俗無中で(1) 式の如くなる。

v = k (HF) m (H2O) n ----- u)

(BP 機能は 5 U VOL * 以内で成立するもの) そして上式は 81 U 2 , B8 U に 対しては m = 2 , n = 1 であり、 P8 G に対しては m = 1.5 , n = 1 である。 以に X 俗 縣 中で は 欠 の 凶 太 の 如 く な る

v = k (HF)

(HF 酸酸は 20 vol x 以内で成立するもの) 8108, P80, B80 の いづれに 対しても同じである。

ところで式(L)、以における速度足数とは温度、 仮エッチング物質の値類及びエッチング板の溶媒 の価類によって変化し

- 本発明によるエッチング被では王としてこれらの意を利用するものである。
 - 2) 吹に本発明によるエツチング被では第2四

强 1 表

HgO-HF术, CHgOH-HF术, CgHgOn-HF术, (CHg)gCHOH-HF术

| (A) | 79 | 218U | 1497 | 941 |
|--------|-----|------|------|-------------|
| (B) | 13 | 288 | 238 | 148 |
| (0) | 20 | 390 | 211 | 162 |
| (۵) | 4 | b | 7 | b |
| (8:) | υ.7 | υ.7 | 1.1 | U. 9 |

上表からも明らかな如く、使来の出20 のを繰 15mm とした場合に比して本発明のアルコールを加えた場合、選択比の書るしい向上が目立つ。 特に (A), (B), (C) 博選において調者な効果があり、 下地がシリコールの中でもメタノール (CH80H) が顕者であった。 たいしち VOL X以上の過度ビルアルコールのは近のの結果が得られ、イソプロにで使用コールのは近けが取ります。 大ななは とり がったい ないが 取ります いきない が 取ります といったい ないが 取ります いきない が 取ります といったい ない ない はい カール・ ち VOL X以上の過度では イソブロビ

特筋昭52-56869 (3)

ルアルコール俗族の場合に選択性は増も良い。

さらに conc HP 酸(卵酸皮厚液)の アルコール 50 volx 未向の浴板について効果が認められる。 これは遮状比対波波を示す第3凶において、戦闘 に適択比 (A)(B)(C) については 対数目盤、 (D) に ついては整数目盤、模軸に conc HF(49 %) のア ルコールによる 治状破成(vol x)で示す田根(A) ~ (D) に明らかな如く、 5U vol* 未何の彼後にお いて選択比の破大値が存在するが、これは 810%, BBGの場合 1 vol x 未掏の破皮では突質的に反応 が起らず、 PSGの場合反応が起る事から生するも のである。また凶から判ることは選択比は1~5 vo 4 % に 琅 大 値 に 達 し 、 B 8 t の 遇 択 性 が 敢 天 と な る 希状 磯 蔵 は 20~30 vol % にあ り、 P8Gの 場合 と異なつている。さらには第 1 表 (D) から明らか な如く BgO 俗蝶よりも良好な選択性を備える。

本発明によれはカラス質に対する艮野な過択性 がおられるので、半導体器板に共存する便数値の カラス黄殿に対する遊訳エッチングに他のて顕著 な効果を発揮する。

図面の耐単な説明

男】凶はエッテンク 速度の水波度 依存性、HF皮 皮依存性を示す凶、 免2凶は 810g, B8G, P8G に 対するエツチングレートのHP疲兢似仔皮を示す 凶、羽3凶は遮沢比対機版を示す凶である。

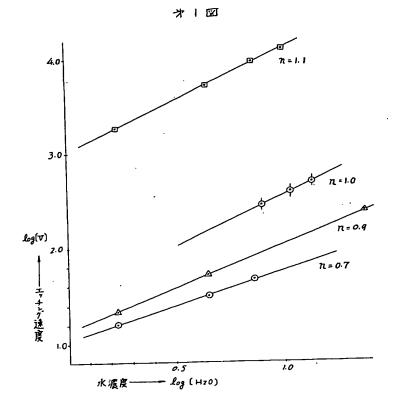
(3257) 代理人 弁理士 井

才一图凡例

0: (HF) = 1.46 Mol/L **♦:(HF) = 4.38** " 溶媒 CH30H Temp. 25°C CVD SiO2 A: (HF) = 1.46 MO /L

BSG □: (HF)= 1.46 Mo/L

PSG



特開昭52—56869(4)

